

## コンプライアンス

### ■ コンプライアンス推進体制

推進にあたっては、シチズンホールディングスの「CSR委員会」がグループとしてのCSR活動の推進と、CSRに関する政策の立案・提言を統括的に行っています。グループ各社においては、各々が独自にCSR推進部門を設け、シチズンホールディングスと連携をとりながら、コンプライアンスの啓発活動や教育研修を含めて展開しています。各社がそれぞれ従業員の各職級にあわせた独自の教育体系に基づき、集合研修やビデオ研修を行っています。なお、グループ全社の対象者全員を一堂に集め、各々のタイミングで新入社員教育・新管理職研修・新取締役研修の一環として、CSR・コンプライアンス教育を行っています。

### ■ 知的財産管理体制

シチズンホールディングスでは、グループとしての知的財産方針を策定し、グループ知財管理体制を構築しています。これにより、第三者の知的財産権を侵害することがないように努めるとともに差別化技術やデザインの創出を促し、創出された知的財産を保護し、事業の自由度の確保と事業の拡大に努めています。

また、シチズンブランド維持のために、模倣品対策も積極的に実施しています。

### ■ 社内通報制度

シチズングループでは、法令違反ないし不正行為による不祥事の未然防止および早期発見、自浄作用の向上のため「企業倫理相談窓口」を設けています。「社内通報制度規程」では、通報者の秘密の厳守、被通報者の反論の機会、通報者に不利益な処遇がなされないことなどを定めています。2008年から外部通報窓口も設置し、匿名で通報できるようにするなど通報環境を整えました。なお、2009年度CSR意識調査では、70%近くの従業員が企業倫理相談窓口を知っていると回答し、また「企業倫理相談窓口を利用しますか?」の問いで、利用しない16%、わからない42%とあり、その理由として最も多かったのが「秘密厳守が保たれるか不安がある」でした。この結果を踏まえ、今後も継続して相談窓口の周知、信頼性を高めるための努力を行っていきます。

## リスクマネジメント

### ■ リスクマネジメント体制

シチズングループは、事業活動に伴うさまざまなリスクを適切に管理するためにリスクマネジメント基本規程を制定し、併せてグループ内におけるリスクマネジメント推進体制を定めました。今回の決定に従い、今後CSR委員会が方針・施策の決定を行い、グループCSR推進委員会を通して、グループ各社への展開を行っていきます。

### ■ 安全保障貿易管理

シチズングループは、グループ内の安全保障貿易管理を確実に実行するため「シチズングループ安全保障貿易管理規則」を制定しています。主なグループ会社5社で構成する「シチズングループ安全保障貿易管理委員会」を設置し、グループ各社に対し指導・教育・情報の提供および監査などを行っています。また、コンプライアンス活動を推進するための組織として、日常的に輸出を行っているグループ会社14社からなる「輸出統括会社連絡会」を設けています。

### ■ 情報セキュリティ

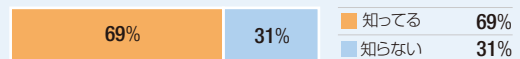
シチズングループは、さまざまな情報を適切・安全に運用し、社内外の脅威から情報を守るために「情報セキュリティ委員会」を設置しています。2009年度は、シチズングループ情報セキュリティポリシーの改訂を行うとともに、下部組織「情報セキュリティ推進委員会」を中心にUSBメモリーによる情報漏洩についての対策を議論しました。今後グループとしての統一指針を策定する予定です。また、2009年度はe-ラーニングによる情報セキュリティ講座と個人情報保護講座の開講を行いました。

TOPICS

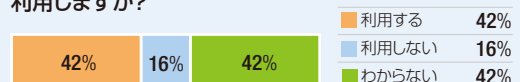
### CSR意識調査

シチズングループでは、CSR・企業倫理に関する認知状況を把握するために、2007年度から事業会社の従業員（派遣社員含む）を対象にCSR意識調査を行っています。

#### Q.1 あなたは企業倫理相談窓口を知っていますか?



#### Q.2 法令違反を見つけた場合、企業倫理相談窓口を利用しますか?



[回答者数] 2009年度:6,605名/9,031名(回答率73.1%)

